

# 同窓会会報 第41号



昨年3月11日、巨大地震が発生。さらにその後の大津波による被害の拡大、そして人災ともいえる福島第一原発の事故にいたっては、今も続く状況であります。いわゆる「東日本大震災」では多くの尊い人命を失うのみならず、何気ない日常、平凡であるが大切なものを数多く失い、日本人の多くの人々の心を痛めました。

震災後、誰もが「何かできることはないか。」と考え、多くの人が行動に移し、そして支え合っています。復興の歩みは遅くとも、現在も徐々に前に進んでいる状況です。日本大学三島高等学校同窓会でも、復興に少しでもお役にたてられるようにと考え、総会の実施の際に募金活動を行いました。富士支部の活動で集まった義援金とともに、この募金は「あしなが育英会」の東日本地震・津波遺児を支援する活動に対して寄付することを決定しました。

ところで、母校日本大学三島高等学校は、すべての新校舎が完成し、昨年4月より生徒全員がこの校舎に入り、素晴らしい環境の中で活動しています。旧校舎は解体されるとともに、その跡地には部室棟が建てられ、校内の整備が進んでいる状況です。思えば、校舎や体育館・講堂などすべてが木造であった頃から鉄筋コンクリートの校舎へと移り、さらに新たな校舎の完成。50年の時の流れを感じます。

同窓会は、今回、第52期生660名を新たに迎えることとなりました。すでに同窓生は5万人を超え、数多くの分野で活躍されています。親睦の場として多くの同窓生が集えるように、つながりを大切にできるように、同窓会では、活動の活発化を課題として話し合っています。現在、本部の活動だけではなく、支部や女子部、各期が実施する様々な活動に対して支援しています。また同窓会のホームページを活用し、その充実をめざすことも課題であります。同窓会活動の新しい情報を随時、更新しておりますので、ご覧になって下さい。

今後の母校の発展、ならびに同窓会会員の皆様のご多幸を祈るとともに、これから日本大学三島高等学校同窓会の発展へご支援いただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、23年にわたり同窓会長を務め、その後も顧問としてこの同窓会を支えていただきました高田菊平（1期）氏が永眠されました。心よりご冥福をお祈りいたします。





## 「つなぐ」チカラ 「絆」の力 「同窓」力

校長 仁藤 芳治

第52期卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

日本大学三島高校は、平成21年度に創設50周年記念式典を無事終え、新たな歴史の場面を迎えております。

皆さんは、今、5万余名の同窓の仲間入りをします。誇りある母校のタスキリレーを見事に担いました。

本校の校訓「自由と規律」で育った皆さんには、大きな使命があります。それは、社会人として今後の長い人生を生きっていく時、母校での教育に誇りを持ち、母校の先輩に学び、連綿と後輩にバトンリレーしていく事であります。

また、日本大学の傘下にある母校の卒業生として、新たな環境、新たな社会に於いて、日本大学の掲げる「自主創造」の精神を具体的に発揮し、自らの生きぬく力として欲しいのです。その意味において、母校は人生の出発点となります。すなわち、ゴールは新たなスタートとなるのです。

今後は、常にリスタートの気概を忘れず、おおいなる活躍を期待するものであります。

本校も、今後は厳しい教育場面に直面し続けます。同窓生

となったからには、母校の発展をあたたく見守り、慈愛の精神で母校を支援して戴きたいと、心より願うのです。

同窓生として母校を支援するという使命感は、社会生活を豊かなものにしてくれます。

今日まで、卒業生は同窓を媒体としてタスキリレーをし、「つなぐ」ことをモットーにしてきました。「絆」の力が同窓会を支えて来た大きな鍵となっているのです。

母校愛という大きな無私の精神をもって、同窓会を大きく育て、母校の発展とともに並走してください。

つなぐ力、絆力は、イコール同窓力となるのです。

仲間がいたから頑張れた、友人がいたから楽しかった。チームを組むことは力を数倍にも高めてくれる。母校での多くの行事や学級活動、部活動の中で実感したはずです。

同窓会の「絆」の力は、「同窓」力としてネットワーク社会のキーワードとなる事は間違いありません。

皆さんに「いのちのバトン」という相田みつをさんの詩の一節を紹介します。「過去無量のいのちのバトンを受けついで いまここに自分の番を生きている それがあなたのいのちです それが私のいのちです。」この「いのち」を家族、仲間、同窓生に置き換えてみてください。

本校の教育方針「志」と「思いやり」と「チーム力」が社会と言う大きな器の中で生かされる時、母校から新たに出発した「同窓力」がものなのです。

そして、また、いつの日か、この母校に立ち戻り、青春の原点に思いを寄せてくれる日を楽しみに、前途洋々の皆さんの人生を心より祝福いたします。

## 同窓会入会式・記念講演

平成24年2月18日(土)

同窓会入会式を母校8号館講堂にて行い、第52期生660名を迎えました。入会式では同窓会長による新入会員への歓迎のあいさつがあり、卒業記念品を贈呈しました。また同窓会表彰規定により奨学金を鈴木慎司君、杉山颯君、廣庭聡君の3名に渡しました。また部活動などの顕著な実績を認め、三枝花菜さん(放送部)に奨励金を贈りました。

入会式後の記念講演は、講師に1993年から4期16年にわたり静岡県知事を務め、現在、日本大学国際関係学部客員教授である石川嘉延氏をお迎えして実施しました。タイトルは『窓を開けてみよ。世界は広いぞ!』。県知事時代の話もあり、生徒は興味深く、熱心に聞き入っていました。



入会式



表彰光景



講演光景



## 新入会員の言葉

### 「出会いを大切に」

生徒会長  
川村 早織

花のたよりが聞かれる季節となりました。この3年間、私たちは本校で多くの人と出会い、一緒になって笑い、楽しかった思い出がたくさんあります。これから苦しいことや辛いことが多々あると思いますが、本校での経験が自信となり、大きな支えとなるでしょう。本校で出会った縁。「一期一会」をこれからの生活において大切にしていきます。

私たちはいよいよ卒業し、晴れて日本大学三島高等学校同窓会の会員となります。何十年も続く伝統ある同窓会には素晴らしい先輩たちが大勢います。近くで見守ってくださっている方もいれば、遠くで後輩の道を照らしてくださっている方もいます。私たちが先輩方の背中を見てきたように、後輩の憧れるような見本となり、社会で活躍したいです。また、同窓生という誇りを一人ひとりが持ち、人と人とのつながりと思いやりの心を大切にします。そして私たちの母校、日本大学三島高等学校の発展に寄与できるように努力することを誓い、第52期生代表の挨拶をいたします。



## 新入会員を迎える

### 「つなぐ」

第39期生  
白井 宏明

卒業生の皆さん、同窓会への入会を歓迎し、同窓生の一人として心よりお祝いを申し上げます。

私は、13年前に母校を卒業しました。ここで、私の高校3年間を振り返ってみたいと思います。私は高校時代に当時の制服である紺色のブレザーを着て、みなさんと同じ銀杏並木通りを友人と一緒に登校しました。おとなしく地味な生徒であったため、目立つことはなく先生からの印象が薄かったのではないかと思います。この当時は、将来、公務員となり、日本を役人として下支えしたいという気概は旺盛にありました。よって進路は、ためらうことなく、日本大学法学部へ進学しました。

母校で自然と知り合った友人とは、現在でも電話やメールで近況報告をし、1年に1回は会って当時を懐かしみます。このことが高校時代に得た一番の財産です。現在は縁あって同窓会事務局の一員として、同窓会活動を通じて様々な方々と触れ合っています。その中で同窓生がいかに日本、そして地域社会に活躍しているかを知ることができ、誇りに思っています。

皆さん、母校には5万人以上の同窓生がいます。同窓生の絆は、とても固く、何かあった際には必ず皆さんの助けとなるはずです。皆さんが、もし人生で壁にぶつかった際には、母校を訪れてもよいと思います。私自身も、同窓生の一員としてみなさんと固い絆でこれからも結ばれていきたいと思います。

## 第52期生 幹事一覧

代表幹事 川村 早織 (12組)

### クラス幹事

1組 青木 翔一	11組 久宗 知明
2組 鳥居 英貴	12組 杉本 優祐
3組 森野 祐也	13組 高橋 晃平
4組 小菅菜穂子	14組 井澤 賢人
5組 橋本 滯奈	15組 廣庭 聡
6組 河崎 萌子	16組 服部 宏亮
7組 植松 健太	17組 菅沼 平
8組 高橋 凌	18組 上田 優
9組 小早川 隆	19組 佐々木 奎
10組 鈴木沙也加	

## 同窓会役員一覧

役職	氏名	支部長	氏名
会長	今井 信之 (1期)	三島	渡邊 昌宏 (11期)
副会長	渡邊 博夫 (2期)	沼津	手島 正武 (3期)
〃	川口 功一 (3期)	田方	宮澤 正 (4期)
〃	藤幡 俊量 (11期)	裾野	眞田 正義 (1期)
副会長(女子部会長)	石橋 倍子 (4期)	御殿場	芹澤 修治 (7期)
幹事長	庄司 一洋 (7期)	富士	日置 信弘 (3期)
副幹事長	山本 弥之 (4期)	富士宮	深澤 好幸 (7期)
〃	鈴木 真雄 (14期)	静岡	小澤 薫 (9期)
会計監査	永井 嘉大 (2期)	熱海	谷口 俊司 (2期)
〃	柳田 和夫 (10期)	小田原	川口 功一 (3期)

(平成23年4月1日現在)

## 同窓会総会

平成23年10月21日(金) 於 三島プラザホテル

同窓会総会を平成23年10月21日(金)に三島プラザホテルにて開催した。総会は会長あいさつに始まり、平成22年度の活動報告・決算、平成23年度事業計画・予算・次期役員候補などの件がすべて承認されました。また当日は、ご来賓として母校校長仁藤芳浩先生をお招きし、ごあいさつをいただきました。

懇親会では、会長のあいさつや還暦を迎えられた方々への記念品贈呈などがあり、和やかに進みました。毎年恒例となっている空くじのなしのくじ引き大会では、御殿場支部が企画、盛り上がりました。

今回の総会の際、同窓有志によって、昨年発生した東日本大震災に対する募金活動を行いました。今回、皆様から集まった義援金は「あしなが育英会」に寄付することを決定しました。同時に富士支部の活動により集まりました義援金も寄付することとなりました。今回の趣旨に賛同され協力された皆様、ありがとうございました。



還暦祝



校長を囲んで

## 平成22年度 事業報告 (平成22年4月～平成23年3月)

## 1. 総会 平成22年10月22日(金)三島プラザホテル

- (1) 開会の辞
- (2) 会長挨拶
- (3) 日本大学国際関係学部学部長挨拶  
日本大学三島高等学校・中学校校長挨拶
- (4) 議事
  - ①平成21年度事業報告 ②平成21年度決算報告
  - ③役員改選 ④平成22年度事業計画 ⑤平成22年度予算
- (5) 閉会の辞
  - ・懇親会 ①開会 ②挨拶 ③乾杯 ④懇親会
  - ⑤校歌斉唱 ⑥閉会

## 2. 幹事会・役員会

- (1) 平成22年5月10日(月) 母校大会議室 幹事会  
同窓会設立50周年記念行事関連について
- (2) 平成22年7月22日(火) 母校14号館1階旧事務室 三役会
- (3) 平成22年9月9日(火) 母校14号館1階旧事務室 幹事会
- (4) 平成23年1月18日(火) 三島 高田屋 幹事会兼新年会

## 3. 事業

- (1) 平成22年5月23日(日) 朝霧カントリークラブ  
同窓会設立50周年記念ゴルフ大会
- (2) 平成23年2月19日(土) 母校8号館3階
  - ①第51期生同窓会入会式  
奨学金 上島 優(3-19) 木村 匠(3-19)  
峰田 留理(3-19)
  - 奨励金 杉山 沙侑南(3-15)水泳部  
久松 美穂(3-19)ボウリング
  - ②記念講演会 講師：北岡 和義(日本大学国際関係学部特任教授)  
タイトル 「青年は荒野を目指す」
- (3) 平成23年3月1日(火) 同窓会会報発行 第40号

## 4. 支部総会(開催順)

- (1) 女子部  
総会 平成22年5月16日(日) 母校桜陵祭
- (2) 三島支部  
総会 平成22年5月21日(金)  
日本大学国際関係学部15号館 パノラマラウンジ
- (3) 静岡支部  
総会 平成22年6月4日(金)  
ホテル プリヴェ 静岡ステーション
- (4) 富士支部  
総会 平成22年6月18日(金) ベアーステージノイ
- (5) 沼津支部  
総会 平成22年6月22日(火) ブラッシー銀座ライオン
- (6) 御殿場・小山支部  
総会 平成22年6月25日(金) ホテル御殿場館21
- (7) 田方支部  
総会 平成22年9月25日(土) 伊豆洋らんパーク
- (8) 裾野支部  
総会 平成22年10月16日(土) 勢力
- (9) 小田原支部  
総会 平成23年2月26日(土) 魚がし

## 5. その他

- (1) 静岡・沼津・富士支部合同事業  
同窓会ゴルフ大会 平成22年10月24日(日)  
朝霧カントリークラブ
- (2) 富士支部・女子部合同事業  
富士支部・女子部同窓会50周年記念式典  
平成22年11月26日(金) パークホテル
- (3) 静岡支部  
同窓会50周年記念新校舎見学会  
平成23年3月5日(土) 母校新校舎

## ご定年によって退職される先生方



稲田 智子 先生

- 奉職年 : 昭和44年
- ご退職年月日 : 平成23年9月29日
- 教 科 : 国語
- 主な校務 : 生活指導・保健衛生・教務
- 趣 味 : お菓子作り・旅行
- 部活動の顧問 : 箏曲部



高原 健治 先生

- 奉職年 : 昭和44年
- ご退職年月日 : 平成23年10月13日
- 教 科 : 保健体育
- 主な校務 : 生活指導・生徒会指導・図書・教務
- 趣 味 : アマチュア無線
- 部活動の顧問 : 陸上競技部・柔道部・女子バレーボール部



桑原 康晃 先生

- 奉職年 : 昭和44年
- ご退職年月日 : 平成23年11月24日
- 教 科 : 数学
- 主な校務 : 保健衛生・生活指導
- 趣 味 : 旅行・ドライブ etc
- 部活動の顧問 : 卓球部(35年)・野球部(8年)



加藤 頌吾 先生

- 奉職年 : 昭和46年
- ご退職年月日 : 平成23年11月1日
- 教 科 : 理科(化学)
- 主な校務 : 教務・進路指導
- 趣 味 : 写真
- 部活動の顧問 : 化学部・写真部・インターアクト同好会

なお、加藤先生は、平成21年4月1日から平成23年3月31日まで中学校教頭を務め、中学校発展のためにご尽力されました。



栗原 徹 先生

- 奉職年 : 昭和50年
- ご退職年月日 : 平成24年1月24日
- 教 科 : 数学
- 主な校務 : 生徒会指導・進路指導
- 趣 味 : ドライブ・観劇
- 部活動の顧問 : 数学部・囲碁将棋部



足立 公生 先生

- 奉職年 : 昭和46年
- ご退職年月日 : 平成24年2月17日
- 教 科 : 理科(生物)
- 主な校務 : 保健衛生・図書・教務・進路指導
- 趣 味 : 自然観察
- 部活動の顧問 : 写真部・生物部・卓球部・陸上競技部

## 短 信

## 一 訃報のお知らせ

同窓会顧問であった高田菊平(1期)氏がお亡くなりになりました。

1971(昭和46)年より幹事長となり、1978(昭和53)年からは第3代同窓会会長として、2004(平成16)年まで務められました。この間、地域支部活動をベースとする同窓会組織の立ち上げに尽力され、常に同窓会活動の中心にいて活躍されました。その後も顧問として同窓会を支えていただき、同窓会設立50周年記念事業の成功にも関わっていただきました。また母校創設50周年の際に作成された「桜陵五十年」では「継続は力なり」と題し寄稿され、同窓会の今後の活動にも期待されていました。

ご冥福をお祈りいたします。

# 新教頭先生の紹介



### 高等学校教頭に 赤木不二男先生が 就任

平成23年4月1日付をもって、日本大学櫻丘高等学校より赤木不二男先生を迎え、本校教頭に就任されました。教科は英語を担当しています。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。



### 中学校教頭に 江藤雄二先生が 就任

平成23年4月1日付をもって、江藤雄二先生が中学校教頭に就任しました。先生は長年、本校教諭として勤められ、教科は数学を担当しています。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。

## 日本大学三島高等学校 同窓会 規約

- 第一章 総則**
- 第一条 本会は日本大学三島高等学校同窓会と称する。
- 第二条 本会は日本大学三島高等学校を母体とし、これを日本大学三島高等学校内に置く。
- 第三条 本会委員は、日本大学三島高等学校の卒業生をもって学生会員とし、現職職員および元教職員をもって特別学生会員とする。
- 第四条 本会は、母校の発展に際しより会員相互の親睦と融和を図り、母校の発展興隆に寄与することを目的とする。
- 第五条 本会は、前条の目的達成のために左の事業を行なう。
- 一、会員相互の親睦と融和をはかるための各種行事
- 二、母校の発展興隆に関する各種行事（協力、参加）
- 三、その他の目的達成のために必要と認むる事業
- 第二章 機関**
- 第六条 本会事務、事業遂行のため左の機関を置く。
- 一、総会 二、幹事会 三、支部会 四、事務局
- 第三章 総会**
- 第七条 総会は、本会運営の最高決議機関である。総会の議事は、出席会員の過半数をもってこれを除する。但し、議決は出席者の各支部を代表する支部長をもって、総会の決議に代ることを得る。
- 第八条 総会は、本会運営についての立案実行の一切の事務を幹事会に委嘱する。
- 第九条 総会は、四月一日より翌年三月三十一日までの年度一回、会長を招き、報告を受ける。会計監査の所管事項の報告を受ける。但し、緊急を要する事項に關し、会長は臨時に招集し、又は会員多数の要求があつた場合、会長は臨時に招集しなげばならない。
- 第四章 幹事会**
- 第十条 幹事会は、運営機関として左記の事項を立案し、総会の承認を経たのちこれを実行する。
- 一、予算、決算に関する事
- 二、事業計画に関する事
- 三、規約の改廃に関する事
- 四、その他、第五十五条において必要と認められた事項
- 第十一条 幹事会の組織は幹事長が行なひ、年三回以上、原則として過半数の幹事長出席のもとで開催する。また、幹事長は幹事長の三分の一以上の要求があつた場合は、臨時に幹事会を招集し得べし。
- 第十二条 幹事会には、幹事長、名、副幹事長、名、庶務、会計各一名、その他、必要と認められた職員を幹事会の互選により選出する。
- 第十三条 幹事会に幹事会を設け、常任幹事会は幹事会の職員より選出する。非常任幹事会は、必要と認められ、必要により幹事会に併せて設置することができる。
- 第五章 支部会**
- 第十四条 本会各学区支部会を設け、本会の目的達成の推進を図るものとする。
- 第四章 事務局**
- 第十五条 事務局は幹事会のもとで本会運営を円滑ならしめるよう務める。
- 第十六条 事務局は幹事会より委嘱された者をもって構成する。
- 第十七条 編集委員会 編集委員は幹事会に所属し、原則として年一回の会報を発行し、その他、本会運営上、必要なら広報の任にあつた。
- 第十八条 編集委員会は幹事会より委嘱された者をもって構成する。
- 第五章 役員**
- 第十九条 本会は左記の役員を置く。
- 会長一名、副会長一名、幹事長一名、副幹事長一名、常任幹事、支部幹事（代表者）、幹事（各期の代表者）、女子部幹事（代表者）、会計監査二名、常任幹事、幹事、女子部幹事は他の役員と兼任することができる。
- 第二十条 会長、副会長は、幹事会の推薦により、総会の決議をもつて選出する。会長は本会を統理し、副会長はこれを輔佐する。
- 第二十一条 幹事長は幹事会を輔佐し、本会運営の責任を負ふ。
- 第二十二条 副幹事長は幹事長を輔佐する。
- 第二十三条 幹事は各卒業年度を代表者が当たり、学年の意見を代弁し併せて会務を分担する。
- 第二十四条 常任幹事は各地区支部会の代表者が当たり、地区の意見を代弁し併せて会務を分担する。
- 第二十五条 会計監査は総会において、経理の監査にあたり、総会はその旨を報告し承認をうけなければならない。
- 第二十六条 期には年幹事とする。但し、重任はさまたげない。
- 第六章 会計**
- 第二十七条 本会の経費は会費若しくは寄附をもつてこれに當てる。
- 第二十八条 正会員は卒業時に終身会費一万円を納入する。
- 第二十九条 本会の会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。
- 第七章 表彰**
- 第三十条 本会は、表彰、その他、本会が幹事会の議により、総会の承認を得、これを形勢とする。
- 第三十一条 本会に功績を著した者、功績が顕著であつた者は、幹事会が幹事会の議を経て総会の承認をえ、これを表彰することができる。
- 第三十二条 本会に顕著な功績があつた者は、会長がこれを表彰し、本会報上にその旨を掲載する。
- 第三十三条 本会に功績を著した者は、幹事会の議により、総会の承認を経て、昭和三十六年三月十日
- 第三十四条 別掲施行 昭和三十六年三月十日
- 第三十五条 改定施行 昭和三十七年四月三十日
- 第三十六条 改定施行 平成十四年四月三十日
- 第三十七条 改定施行 平成十四年十月十日
- 第三十八条 改定施行 平成十六年十月十日

### 第52期生同窓会入会金の納入のお知らせ

日本大学三島高等学校同窓会では、第52期生の入会にあたり、同窓会規約第28条にもとづいて、終身会費として1万円を納入することをお願いしています。方法については、高校卒業時に「諸経費預り金」より納入することになりました。ご理解、ご了承くださいようお願いいたします。

**日本大学三島高等学校 同窓会会報 第41号**  
 平成24年3月1日発行 発行者：今井信之 編集：事務局  
 〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号  
 TEL 055 (988) 3500 (高校事務局) FAX 055 (988) 3517  
<http://www.nu-mishima-dousou.jp/>